

令和7年度 第3回能勢町社会教育委員会 要旨録

○開催日時及び場所

日時 令和7年10月14日（火） 午後2時00分～3時30分

場所 役場本館 会議室2

○出席者

委員長：田畑良信

副委員長：奥畑 司

委員：須見裕美、谷口寛、新田千佳、茂崎康弘

○欠席者

委員：中村信行

○事務局

生涯学習課：課長 奥 成久、係長 子安一朗

次第

○あいさつ

○案件

1. 令和7年度の事業進捗について
2. 芸術文化祭（ステージの部）事業報告について
3. 令和6年度能勢町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告について
4. 新生涯学習センター整備事業について

○その他

事務局

それでは、令和7年度第3回能勢町社会教育委員会の開会に当たり、田畑委員長からご挨拶をお願いいたします。

委員長

（あいさつ）

事務局

それでは、以後の議事進行につきましては、田畑委員長よろしくお願いたします。

委員長

それでは、次第に沿って案件1の令和7年度の事業進捗についてと併せて案件2についても事務局より説明をお願いします。

事務局	(資料にて説明)
委員長	それでは、案件1及び案件2についてご質問やご意見をご発言ください。
委員	野間の大けやき保護増殖検討委員会での今後の検討内容についてもう少し具体的にお聞かせください。
事務局	6年に一度の間隔でヤドリギの除去を計画していますので、現在の経過状況について話しています。また、里道内の木の根の保護を行うためにどのように根が広がっているのかを調べた上で検討していくべきとの意見が出ています。現在のところ大ケヤキが急激な衰退をしているといった状況は見られないとのことでした。
委員	増殖といった項目については具体的な検討はされていないのか。
事務局	以前、委員からご意見を頂いておりました、種子から木を育てPRに取り組むことにつきましては、施設の指定管理の事業の中で行えないかといった話は出ています。クローンをつくるといった話はありませんが、苗木をつくったり、樺を使った活動で知名度を上げて集客に繋がられないかなどのお話が出ていました。
委員	千年を超えている木であり、生き物ですので命に限りはあります。その考えの中で、これからのことも考えておくべきとの意見です。
事務局	現在は保護に力を入れています。3年ほど前から肥料についても野間の大ケヤキの葉っぱや、そこにあるもので作った方がよいとの考えで施肥を行っています。具体的な成果は見えにくいですが、相性は良いと考えています。そのように、意識をした取組が必要と考えています。 話は変わりますが、資料には載せていませんが、野間の大ケヤキの周囲の大きさを測りなおしましたので、巨樹巨木登録サイトのデータの更新を考えておりますことをお知らせいたします。
委員	スポーツ施設ですが、高齢化が進んできている中では、山の上にあるより平地に立て直すなどの考えなどはないのですか。

事務局	現在、施設整備計画の中で色々な施設が老朽化してきており、建て替えなどが計画されてきています。その中で今すぐ体育館も改修というわけにもいかず、財源的なことも考えないといけない中で何がベターかについて理事者とも話をしています。現在の場所についてもメリットもあり色々考えるところです。
委員	バレー競技を行っていて思うところがあります。現在の施設では狭くて大会ができない。できたら空調があったり、サブ体育館があっても良いかとも思います。外からの需要も考えに入れて計画してほしい。
委員長	他にご質問等はありませんか。 (なし)
委員長	それでは、案件3の令和6年度能勢町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告について事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料にて説明)
委員長	それでは、案件3についてご質問やご意見をご発言ください。 (なし)
委員長	それでは、案件4の新生涯学習センター整備事業について事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料にて説明)
委員長	それでは、案件4についてご質問やご意見をご発言ください。 (なし)
委員長	それでは、その他について事務局から説明願います。

事務局

(説明)

委員長

それでは、次回の日程は1月に入ってから調整ください。
最後に、副委員長からご挨拶をいただきたいと思います。

副委員長

(あいさつ)

委員長

それでは、以上で能勢町社会教育委員会を閉会いたします。

会議終了